

木彫芸術を全国へ発信

木彫フォークアート・おおや



グランプリ作品 「風神・雷神」

9月20日、第11回公募展「木彫フォークアート・おおや」の審査会がおおやホールで行われました。

審査には、兵庫県立美術館長の木村重信さんや芦屋市立美術館学芸課長の河崎晃一さんら4名があたり、全国から寄せられた139点(応募一人一点)の中から、入賞作品5点と入選作品40点を選定。グランプリには、京都府・山内行男さんの「風神・雷神」が選ばれました。

グランプリに選ばれた「風神・雷神」は、口から吹く風の渦に乗る風神と目から発する光の雲に乗る雷神を表した作品。「風神・雷神は日本で親しまれているモチーフ。赤と黒を一对にして、立方体が球心的に表現できている」と木村重信審査委員長からも高く評価されました。

出品作品については、9月23日から10月5日まで同ホールで展示され、開催期間中に3758人が来館。会期中の入場者で選ぶ「大衆賞」には2点の作品が選ばれました。

なお、入賞作品5点と実行委員会特別賞に選ばれた東京都・橋本美緒さんの作品「双樹」は、今年オープンした木彫展示館に展示されます。



審査評を述べる
木村重信 審査委員長



念入りに作品を見る来館者